



# 日本共産党 荒川区議会議員

# 横山幸次 区政通信

E-mail: kouji.office@gmail.com

**932** 2025年9月21日  
日本共産党荒川区議会議員団  
区役所控室 3802-4627  
横山事務所  
荒川区町屋5-3-5  
&fax 3895-0504

**定例法律相談  
10月6日(月)  
18時～20時  
横山区議事務所  
お気軽にご相談を**

## 9月区議会 論戦トピックス

誰もが希望を持って暮らせる荒川区  
どんな差別も許さない...共生のまちへ

**外国人**（荒川区HP「さまざまな人権問題」）  
・文化・価値観・ライフスタイル等の違いやそれらに対する無理解により、外国人であることを理由とした、賃貸住宅等への入居拒否や就労に関する不合理な扱い等が発生しています。

・近年、特定の民族・国籍の人々を排斥する差別的言動が、いわゆるヘイトスピーチとして社会問題になっています。



差別と排外主義を許さない姿勢を示し、地域・学校でも人権の理解深める支援を求めました。

区は「地域の分断を招いてはならず、すべての施策で外国人住民の増加をふまえた対策を講じる」答弁

多様性とともに生きる  
生きづらさ、生活の苦しさの原因を外国人に押し付け、排除するのではなく、国籍にかかわらず地域の一員として安心して暮らせるよう、差別と排外主義を許さない区の姿勢を区内外に示すことが大切です。子どもたちの相互理解と日本語学習などいっそうの支援が求められます。

11日から始まった9月区議会、日本共産党は相馬区議、北村区議が一般質問に立ちまして質問内容の要旨などの一部をお知らせします。



支援がその目的といいます。少しでも暮らし応援や商店街の支援につながることが期待されます。

本来なら決算剰余金を充てるべき  
本来なら、今年度の決算剰余金の一部を事業に充てるべきです。運転、設備含めた区の斡旋融資の拡大は、区内産業振興の先行きにまで影響するものです。

障害児への支援強化を  
国は昨年4月、障害児の所得制限を撤廃。区も18歳以下の日常生活用具や住宅設備改善費の所得制限を廃止。しかし福祉タクシー券や自動車燃料費助成、難病患者の通院費助成などの制限は継続。練馬区は所得制限を撤廃しました。親の所得状況にかかわらず障害をもつすべて

の子どもに支援が必要です。国・都に親の所得基準による障害児支援の制限廃止を求めるとともに、区の所得制限の撤廃も求めました。所得制限…シルバー・パスとどう違うの? 区は「国・都も限られた財源を活用するため所得要件を設定されており、区も同様の考え方」と答弁。区は高齢者の外出支援でシルバーパスの所得制限なしの補助で一律1000円に。者の外出移動支援に所得制限・区の姿勢が問われます。

設費の高騰  
あり建設費は

建築計画のお知らせ

建物計画の名前	新規事業拡張工事(新規事業下)新規事業		
建物構造	既存建築物改修		
用途	既存建築面積		
採算性	是	否	是
① 設計	既存建築面積		
② 施工	既存建築面積		
③ 開業	既存建築面積		
④ 整備	是	否	是
施工予定	完了予定		
権利主	新規事業拡張工事(新規事業下)新規事業		
設計者	新規事業拡張工事(新規事業下)新規事業		
監督者	新規事業拡張工事(新規事業下)新規事業		
施工者	新規事業拡張工事(新規事業下)新規事業		



**町屋4丁目付**  
ようやく建設  
16日区議会で  
町屋地区ふれあい館の建設  
の議案が出され  
ふれあい館構造設計  
3・4丁目地域  
らず、建設を強  
たことを思い出

近ふれあい館建設公示の入札結果に動き出します・・・2027年完成予定  
総務企画委員会  
荒木田ふれあい館などに比べ  
4丁目付近  
4倍以上の落札価格になつて  
います。とはいへ、完成が待  
ち遠しいですね。横山幸次

に町屋2・  
翠工事の契約  
可決。当初の  
が入つてお  
く求めまし  
します。計



町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(57)  
区は交通手段検討というが、具体的な進捗なし

「まちづくりの会」が区の担当者と話し合ったと聞きました。ところがその回答は「町屋さくらの復活はない」（担当係長）、「代替え交通手段は、グリーンスローモビリティができるないか、検討しているが」と言いつつ、全く進んでいないのが現状のようです。

区の担当者の言い分には、大きな問題があります。「町屋さくら復活はない」の根拠を議会が復活陳情を不採択にしたからというもの。しかし、区長や区議会の姿勢が変わり、区民が声が高まれば実施に移すことは可能なのです。区民の声を無視し、現状を未来永劫固定するようなことを平然と公務員が口にするなどもっての外だといえます。

また代替え交通手段も結局は、金も出さずボランティア任せでは何も進まないことは自明です。諦めずに区民の声で区政をこじ開けるために力を尽くします。



# みんなの声を議会に届け・提案 もっと子育てしやすい荒川区へ

**子育てを支える「ファミリーサポート」もつと利用しやすく改善を求めました**

ファミリー・サポート・

センター事業は子育てに協力してほしい人と協力したい人をつなげる事業です。

利用会員数は2,407人、

協力会員数は465人(今年3月時点)。がかなり差があります。希望してもサポートが受けられない状況もあるのではないか。

荒川区の利用料金は、制度開始当初から27年間変わっていません。平日日中の場合1時間720円。東京の最低賃金は10月から時給1,226円になります。

「有償ボランティア」とはいえ、あまりにも差があります。

葛飾区は未就学児の場合、実質無償! 他区では金額の補助をして利用者の負担を減らしたり、協力者さんの受け

取る報酬を上げたりして、練馬区では障害児をサポートする際に区が500円追加するなど福祉的な工夫もしています。

協力者の受け取る金額を上

げることを区に求めました。

利用者の負担は上げずに、

協力者の受け取る金額を上

げることを区に求めました。

協力者の受け取る金額を上

猛暑から命守るエアコン購入助成拡充を  
都の「高齢者・障害者に省エネエアコン購入費8万円助成」にあわせ、北区は

象など拡充を求めていた。

あわせ、区の「省エネエアコン助成」の助成額・対

象など拡充を求めていた。

区は「エアコン助成は要件な

どの改善を実施しており、

都と区の両制度を積極的に周知する」と答弁。

荒川区の場合、都補助8万円を引いた額の4分の1

しか併用を認めていません。

荒川区も助成額引き上げも実施しました。

7~8月の電気代補助など

自己負担なしで購入可能になっています。江戸川区は

低所得世帯へのエアコン購入費助成や、高齢者世帯へ

自己負担なしで購入可能になっています。江戸川区は

守る支援強化が求められています。

そのため都の助成拡充にあわせ、区の「省エネエアコン助成」の助成額・対象など拡充を求めていた。

区は「エアコン助成は要件な

どの改善を実施しており、

都と区の両制度を積極的に周知する」と答弁。

荒川区の場合、都補助8万円を引いた額の4分の1

しか併用を認めていません。

荒川区も助成額引き上げも実施しました。

7~8月の電気代補助など

自己負担なしで購入可能になっています。江戸川区は

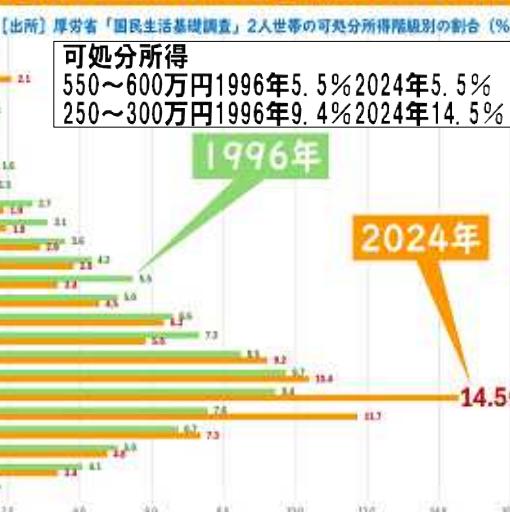
低所得世帯へのエアコン購入費助成や、高齢者世帯へ

自己負担なしで購入可能になっています。江戸川区は

**減り続ける可処分所得…  
中間所得層の貧困化が顕著です**

**中間層の貧困化すすむ日本**

2人世帯 300万円未満34.4%→42.4%、350万円未満43.8%→52.8%



**9月 28日 荒川区の教育を考える  
タウンミーティングを開催します…**

荒川区は、学校施設建替え計画を提示。建替え計画とともに小規模校「適正配置」、小中一貫校の新設、公共施設との複合化、学校プールのあり方、特別支援学級の増設、全小学校に学校内学童設置なども示されています。30年スパンの計画ですが、今後の公教育のあるべき姿が問われています。専門家のお話をうかがい、区民の皆さんとご一緒にこれからの教育を考えるイベントを計画しました。参加は無料です。ぜひご参加ください。

日時：2025年9月28日 日曜日 午前10時～12時  
会場：ふらっとにっぽり3階多目的スペース（荒川区東日暮里6-17-6）  
主催：日本共産党荒川区議団